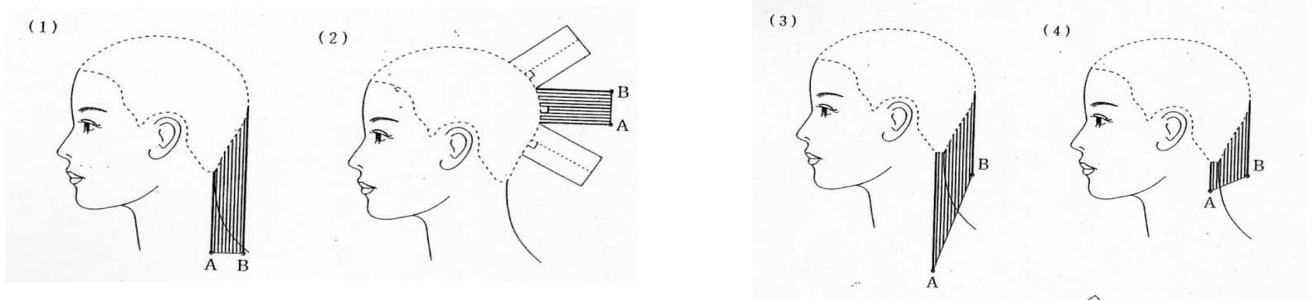


H17・春

問題1 下図は、カットラインを表したものである。①～④のうち、グラデーションカットに該当するものはどれか。



H17・夏

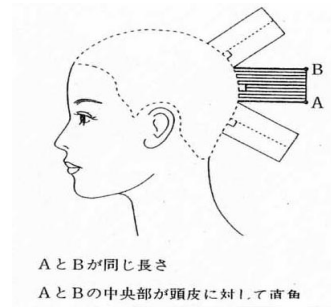
問題2 ヘアカットイングの技法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ロングストロークカットは、パネルの毛先のみストロークし、軽やかな動きをつくりだす。
- ② トリミングカットは、カットされたラインをさらにカットし、修正して仕上げる。
- ③ スライドカットは、毛先を尖らせたり、軽くしたりする。
- ④ ポインティングカットは、毛の長さを変えずに、毛先だけを薄くする。

H18・春

問題3 右図のヘアカットイング技術で作られるヘアスタイルは、次のうちどれか。

- ① ワンレングス
- ② グラデーション
- ③ レイヤー
- ④ セイムレングス



H18・夏

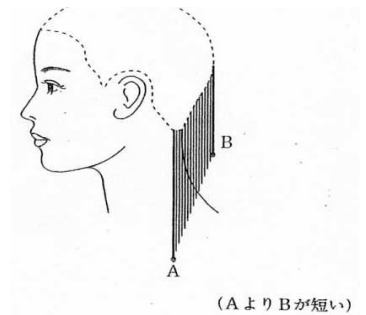
問題4 レザーによるテーパークットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① エンドテーパークットとは、根元近くからテーパーする。
- ② ノーマルテーパークットとは、毛先から1/3ほどテーパーする。
- ③ ディープテーパークットとは、毛先の部分を1～2cmテーパーする。
- ④ レフトサイドテーパークットとは、毛先から1/2ほどテーパーする。

H19・春

問題5 右図のヘアカットイング技法で作られるヘアスタイルは、次のうちどれか。

- ① レイヤー
- ② グラデーション
- ③ ワンレングス
- ④ セイムレングス



H19・夏

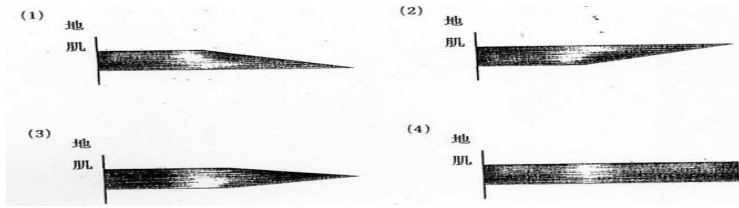
問題6 ディープテーパークットに関するつぎの文章の() 内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

「ディープテーパークットは、特に毛量の(A) 場合や毛髪に(B) 動きを持たせるときなどに(C) 近くからテーパーするカット技法である。」

- | | | | |
|---|-----|-----|----|
| | A | B | C |
| ① | 多い | 大きな | 根元 |
| ② | 多い | 小さな | 毛先 |
| ③ | 少ない | 大きな | 根元 |
| ④ | 少ない | 小さな | 毛先 |

H20・夏

問題7 下図のレザーによるボスサイドテーパークットのテーパー面は、①～④のうちどれか。



H21・春

問題8 ヘアカット技術とその特徴に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカット・・・パネルを頭皮に対して直角（オンベース）に引き出し、全体をほぼ同じ長さにカットする技法である。
- ② レイヤーカット・・・毛先が不揃いになるよう束感を出すためのカット技法である。
- ③ グラデーションカット・・・ガイドパネルの下部より上部の方が長いもので密な段差をつけるカット技法である。
- ④ セイムレングスカット・・・すべてを同一線上で切るカット技法である。

H21・夏

問題9 セイムレングスカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 頭髪全体をほぼ同じ長さにする。
- ② パネルを頭皮に対して直角（オンベース）に引き出す。
- ③ ショートスタイルのカットに多く用いられる。
- ④ シルエットは、上部が短く下部に行くほど長くなる。

H22・春

問題10 テーパークット技法に関する次の技術のうち、正しいものはどれか。

- ① ディープテーパークットは、毛先から1/3ほどをテーパーするカット技法である。
- ② エンドテーパークットは、毛先をテーパーするカット技法である。
- ③ ボスサイドテーパークットは、パネルの外側をテーパーするカット技法である。
- ④ インサイドテーパークットは、根元近くからテーパーするカット技法である。

H22・夏

問題11 シザーズによるカット技法とその説明に関する次の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- ① セニングカット・・・毛髪を直線でブツきりにする。
- ② スライドカット・・・長さの調節と毛量調節を同時に行う。
- ③ ポインティングカット・・・カッティングされたラインをさらにカットし、修整して仕上げる。
- ④ トリミングカット・・・いたんだ毛髪を取り除く。

H23・春

問題12 カット技法に関する次の文章の（ ）内に入る語句の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

『（ A ）カットは、（ B ）の異なる毛髪の層を重ね合わせ、（ C ）を調節してスタイルに立体感を与えるカット技法である。』

- | A | B | C |
|-----------|-------|-------|
| ① グラデーション | ボリューム | 長さ |
| ② レイヤー | 長さ | ボリューム |
| ③ グラデーション | 長さ | ボリューム |
| ④ レイヤー | ボリューム | 長さ |

H23・夏

問題13 シザーズによるカット技法に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a ブラントカットは、毛髪を直線でぶつ切りにする技法である。
- b ストロークカットは、1回ごとにシザーズを開閉させながら動かし、毛髪を削り取っていく技法である。
- c スライドカットは、カッティングされたラインをさらにカットし、修整して仕上げる技法である。
- d ポインティングカットは、毛髪の流れを変えずに、毛量を少なくする技法である。

- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

H24・春

問題14 テーパーカット技法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ディープテーパーカットは、毛先から1/3ほどをテーパーする。
- ② エンドテーパーカットは、毛先をテーパーする。
- ③ ボスサイドテーパーカットは、パネルの外側をテーパーする。
- ④ インサイドテーパーカットは、根元近くからテーパーする。

H24・夏

問題15 テーパーカットに関する次の記述のうち、テーパーする面により分類されるカット技法はどれか。

- ① エンドテーパーカット
- ② ノーマルテーパーカット
- ③ ボスサイドテーパーカット
- ④ ライトサイドテーパーカット

H25・春

問題16 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① パネルを中央に集めて切った場合、頭の丸みと同じカットラインになる。
- ② パネルを左に集めて切った場合、左に向かって徐々に長いカットラインになる。
- ③ 同じ長さのパネルを中央に集めて切った場合、パネルの幅が広いとカットラインの長さの差が大きくなる。
- ④ 同じ幅のパネルを中央に集めて切った場合、カットするパネルの長さが長いほどカットラインの長さの差が大きくなる。

H26・春

問題18 カット技法に関する次の説明に該当する技法はどれか。

「腕の反復運動により、1回ごとにシザーズを開閉させながら動かして毛髪を削り取るカット技法で、毛髪がテーパーされ、先細りの形になり、毛先に軽さや方向性が生み出されると同時に、毛量の調節が行われる。」

- ① ストロークカット
- ② セニングカット
- ③ ポインティングカット
- ④ スライドカット

H26・夏

問題19 カット技術に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① セイムレングスカットは、毛髪が自然に落ちる位置にパネルをシェーブし、全てを同一線上で切るカット技法である。
- ② ワンレングスカットは、パネルを頭皮に対して直角に引き出し、全体をほぼ同じ長さにするカット技法である。
- ③ グラデーションカットは、パネルをダウンシステムでシェーブし、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点となる。
- ④ レイヤーカットは、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットとなるのでショートスタイルのカットに用いられる。

H27・春

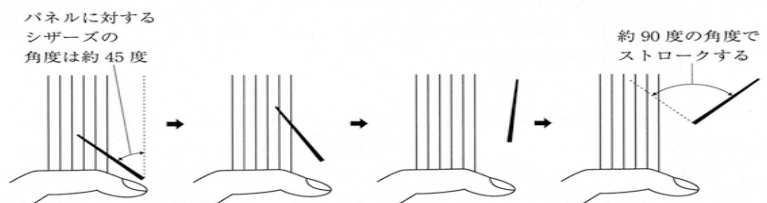
問題20 ヘアカットの正しい姿勢に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① カットする対象に対して、腕を軽く曲げたくらいの間隔をおく。
- ② 目線の高さを調節する場合は、背筋を曲げず、膝の屈伸で対応する。
- ③ カットする際、肘の位置をカットラインに合わせる。
- ④ 右から左へ上がるラインを切る場合は、右肘を上げる。

H27・夏

問題21 下図はストロークカットのシザーズの刃先の動きを表したものであるが、この技法に該当するものはどれか。

- ① ショートストロークカット
- ② ミディアムストロークカット
- ③ ロングストロークカット
- ④ アップストロークカット



H28・春

問題22 テーパーカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ボスサイドテーパーカットは、パネルの内側と外側の両面をテーパーする。
- ② レフトサイドテーパーカットは、毛先が右に流れやすくなる。
- ③ インサイドテーパーカットは、毛先が内側に入りやすくなる。
- ④ ディープテーパーカットは、毛先から3分の1ほどをテーパーする。

H28・夏

問題23 次のカット技法のうち、レザーカットに適していないものはどれか。

- ① トリミングカット
- ② テーパーカット
- ③ ポインティングカット
- ④ セニングカット

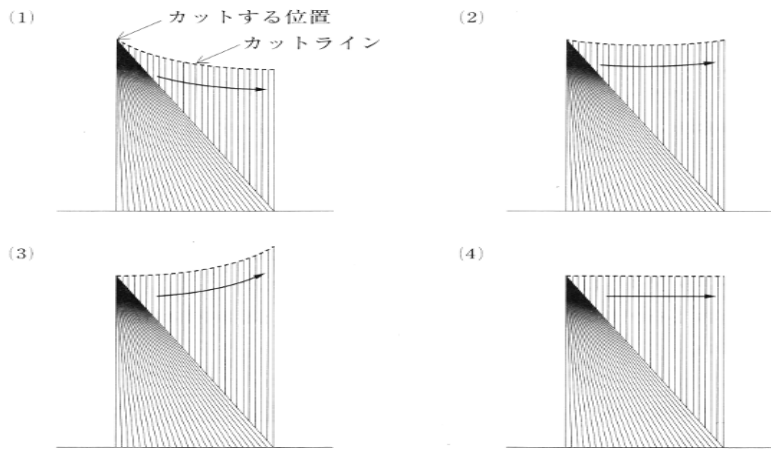
H29・春

問題24 ヘアカットのパネルに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカットは、1つの同じ長さを意味し、基本は水平ラインに切りそろえられたものをいう。
- ② グラデーションカットは、ダウンステムでパネルをシェーブするため、トップショートのパネルになる。
- ③ レイヤーカットは、オンベースでパネルをシェーブするため、ショートスタイルに多く用いられる。
- ④ セムレングスカットは、アップステムでパネルをシェーブするため、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットになる。

H30・春

問題26 毛先を集めてカットする位置とカットラインの関係を表した下図のうち、正しいものはどれか。



H30・後期

問題27 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ブロッキングの基礎分割線で頭部を前後に2分する線を正中線という。
- ② ブロッキングの基礎分割線で左右の耳の上の生え際を横に結び、頭部を上下に2分する線をイヤーツーイヤースタイルという。
- ③ 作業中に目線の高さを調節する場合は、膝を伸ばして、背筋を曲げて対応するとよい。
- ④ 右から左へ下がるラインを切る場合は、右肘を上げ、カットラインに合わせるよい。

H31・前期

問題28 グラデーションカットに関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a グラデーションの幅の大小は、シェーブするパネルの角度の大小によって決まる。
 - b 上層ほど毛髪が長く、カットラインは水平になる。
 - c 全体をほぼ同じ長さにするので、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットを形成する。
 - d 下部の層に比べ上部の層ほど毛髪が長く、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点になる。
- ① aとb ② bとc ③ cとd ④ aとd

H31・後期

問題29 カットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ワンレングスカットは、毛髪をすべて同一線上でできる技法である。
- ② グラデーションカットのグラデーションの幅の大小は、シェーブするパネルの角度の大小によって決まる。
- ③ レイヤーカットは、ボリュームを調整してスタイルに立体感をあたえる技法である。
- ④ セイムレングスカットは、ロングスタイルのカットに多く用いられる。

R2・前期

問題30 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカットはすべてを同一線上で切り、水平ライン、前下がりがりライン、後ろ下がりがりラインがある。
- ② グラデーションカットは長さの異なる毛髪の層を重ね合わせるカット技法で、段カットともよばれている。
- ③ レイヤーカットは上部の層ほど毛髪が長く、スタイルのバリエーションが少ない。
- ④ セイムレングスカットは上層より下層が長く、ウルフカットやサーファーカットが有名である。

問題31 セニングカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① 間引きするように毛量を減らして調整するカット技法である。
- ② 分け目の部分にはセニングし過ぎないようにする。
- ③ 横パネルには直角にシザーズを入れるとよい。
- ④ セニングシザーズでグラデーション状に毛量調整することにより、丸みを出しながら量感を減らすことができる。

R2・後期

問題32 ヘアカットにおけるパネルの角度とシルエットの関係に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① アップステムでシェーブしてカットした場合、トップショートロングエンドとなり、スタイルに立体感を与える。
- ② ダウンステムでシェーブしてカットした場合、シルエットは、骨格に沿った均等なものになる。
- ③ 毛髪をすべて自然に落ちる位置にシェーブしてカットした場合、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットを形成する。
- ④ オンベースにシェーブしてカットした場合、カットラインは水平となる。

問題33 レザーカットの技法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① テーパーカットは、毛髪を削いで先細りにするカット技法であり、テーパーする深さ・面・方向により技術が分類される。
- ② セニングカットは、間引きすることによって毛量調整を行うカット技法である。
- ③ ディープテーパーカットは、毛先から1/3ほどをテーパーするカット技法である。
- ④ ポインティングカットは、毛先を不揃いに尖らせ、ヘアスタイルに遊びや変化をもたせるカット技法である。

R3・前期

問題34 ヘアカットの姿勢に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 左サイドの前下がりがりラインを切る場合は、右肘を上げるとよい。
- ② 右から左へ下がるラインを切る場合は、左肘を下げるとよい。
- ③ 目線の高さを調節する場合は、背筋を曲げて対応するとよい。
- ④ 着る対象に対して、握りこぶし1つ分の間隔をおいて立つとよい。

問題35 刃物の材料に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 炭素鋼には鉄が2%含まれている。
- ② ステンレス鋼にはクロムが5%含まれている。
- ③ 炭素鋼はコバルト鋼に比べて加工性がよい。
- ④ 炭素鋼はステンレス鋼に比べてさびに強い。

R3・後期

問題36 次のヘアスタイルのうち、アップステムでパネルをシェーブしてカットしたものはどれか。

- ① ワンレングススタイル
- ② グラデーションスタイル
- ③ レイヤースタイル
- ④ セイムレングススタイル

問題37 レザーカット技法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① エンドテーパークットは、生え際やパート際、毛量が少ない場合に用いられる。
- ② ノーマルテーパークットは、毛先1/3ほどをテーパースする技法である。
- ③ ディープテーパークットは、根元近くからテーパースする技法である。
- ④ ポインティングカットは、パネルの内側の面をテーパースする技法である。

R4・前期

問題38 ヘアカットに関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① ワンレングスカットは、頭皮に対してパネルを直角に引き出し、全体をほぼ同じ長さに切るカット技法である。
- ② グラデーションカットは、パネルをダウンステムでシェーブした場合、最も長い毛髪の部分がボリュームの頂点となる。
- ③ レイヤーカットは、頭部の形がそのままヘアスタイルのシルエットとなる。
- ④ セイムレングスカットは、毛髪が自然に落ちる位置にパネルをシェーブし、毛髪を同一線上で切るカット技法である。

問題39 セニングカットに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① セニングカットとは、毛髪上でシザーズを開閉しながらすべらせることで毛量調整する技法である。
- ② デザインの構成上表面にあたる部分や分け目の部分は、セニングしすぎないようにする。
- ③ レイヤー状に毛量調整すると、フラット感を与えながら量感を減らすことができる。
- ④ グラデーション状に毛量調整すると、丸みを出しながら量感を減らすことができる。

R4・後期

問題40 下図は、パネルと頭皮の角度を表したものである。ダウンステムに該当するものはどれか。

